

農林大学校の動き(R7年12月)

2026. 1. 14

島根県立農林大学校（担当：教務 三宅）

TEL: 0854-85-7012 FAX: 0854-85-7113

<https://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

学生達の日頃の活動状況、色々な行事などを簡単にご紹介します！



○VRを活用したぶどうの剪定研修会を開催(12/2)

VR(仮想現実)システムを活用したぶどうの剪定研修会が果樹専攻で開催されました。このVRシステムは、島根県農業技術センターが開発協力した出雲市所有のもので、若い新規就農者を対象に活用されています。仮想現実内での模擬剪定は、繰り返しの学習や自身の剪定結果の採点ができるため、学生にとって非常に勉強になる研修となりました。



○県内の事業体等で見学・体験(12/4～5)

12月4日～5日の2日間、林業科1年生は県内の森林組合や林業事業体を訪問し、見学・体験をさせていただきました。これは、学生たちに林業という仕事をきちんとイメージしてもらうため、就職先について自ら考えることを目的に「キャリア教育」の課業として行っているものです。それぞれの訪問先では、業務の概要説明や施設・現場での体験等をさせていただき、学生にとって充実した2日間となりました。



○人権研修・年金セミナーを開催(12/9)

大田本校で、農業科と林業科の学生を対象に開催しました。人権研修では、島根大学から丸山実子准教授を講師として迎えて、自分自身を知ることや生き方、コミュニケーションの大切さ等を学びました。また、年金セミナーでは、出雲年金事務所の担当者から公的年金の仕組みや制度の内容、20歳になった時の手続き等を学びました。



○「けん引自動車運転免許(農耕用限定)試験」を受講(12/8～10)

農業科の学生10名が、けん引自動車運転免許試験を松江市の運転免許センターで受講しました。大田本校の敷地内で運転練習を行っていた甲斐もあり、全員合格することができました。



○「卒業論文発表会」を開催(12/18、25)

農業科2年生が、入学してから2年間かけてまとめた卒業論文を発表しました。発表会後には職員による審査が行われ、1月28日、29日に開催される「中国四国ブロック農業大学校等プロジェクト発表会」で発表する代表者2名が選出されました。



• *皆様のご意見、ご感想をお待ちしております* •